

川口中学校区と八王子市の現状

目次

1 川口中学校区の現状

(1)人口・世帯数(市全体との比較).....	02
(2)児童数・生徒数.....	06
(4)中学校区別の公共施設のデータ.....	07
(3)地域ヒアリングの結果.....	08

2 八王子市の現状

(1)人口.....	12
(2)暮らし・福祉.....	14
(3)教育・子ども.....	17
(4)防災.....	20

川口中学校区の現状

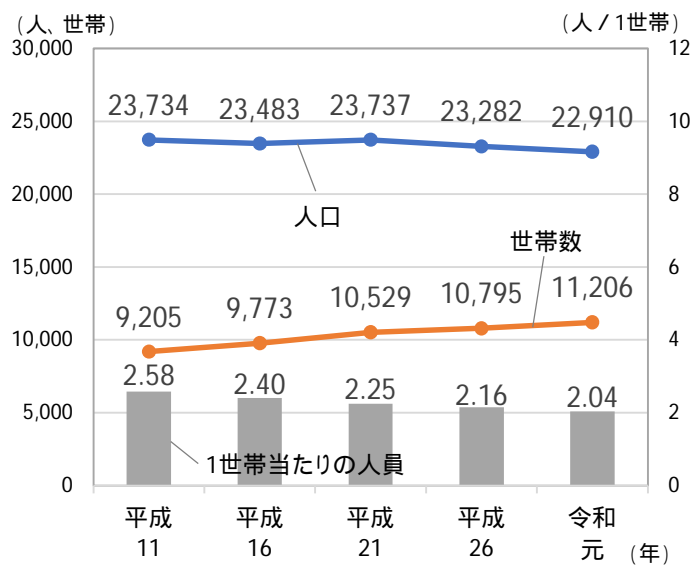
本章では、各地域に関するデータや地域ヒアリング結果を紹介します。
地域の特有の課題や地域団体の具体的な取り組みを取り上げています。

(1) 人口・世帯数(八王子市との比較)

- 川口中学校区の人口は減少傾向にあります。八王子市全域では、平成26年まで増加傾向にあり、以降ほぼ横ばいで推移しています。
- 世帯数は増加しており、一世帯当たりの人員は減少しています。

人口・世帯数・1世帯あたりの人員の推移

<川口中学校区>



出典:「町丁別世帯数及び人口報告表」

川口中学校区の通学区域に含まれる町丁目全域の数字を含めている

(川口中学校区の通学区域: 上川町全域、川口町全域、美山町全域、犬目町一部)

<八王子市>



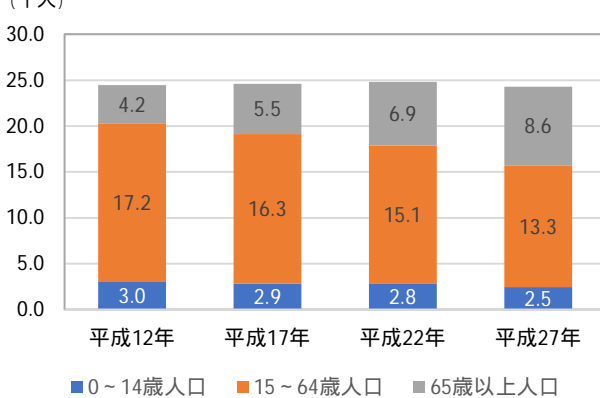
出典:「町丁別世帯数及び人口報告表」

- 川口中学校区の人口構成は、八王子市全域と比べ、「15～64歳」の人口割合が低く、「65歳以上」の人口割合が高い地域です。
- また、八王子市全域と比べ、すべての年で人口減・人口増の傾きが市全域よりも大きく、市内でもより高齢化が加速している地域と言えます。

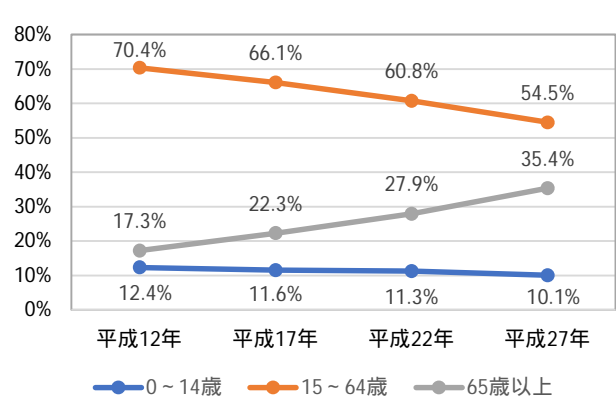
人口構成(年齢3区分別人口)

<川口中学校区>

年齢3区分別人口



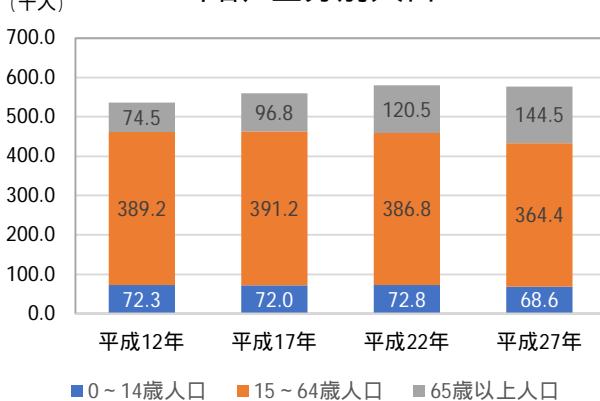
年齢3区分人口割合



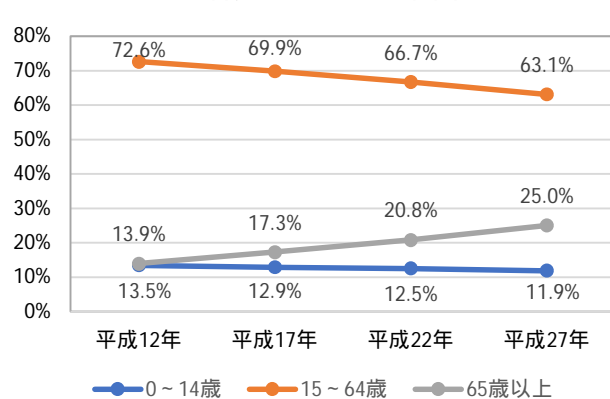
出典:「国勢調査(2000年、2005年、2010年、2015年)」総務省統計局(年齢不詳を案分)
川口中学校区の通学区域に含まれる町丁目全域の数字を含めている
(川口中学校区の通学区域:上川町全域、川口町全域、美山町全域、犬目町一部)

<八王子市>

年齢3区分別人口



年齢3区分人口割合

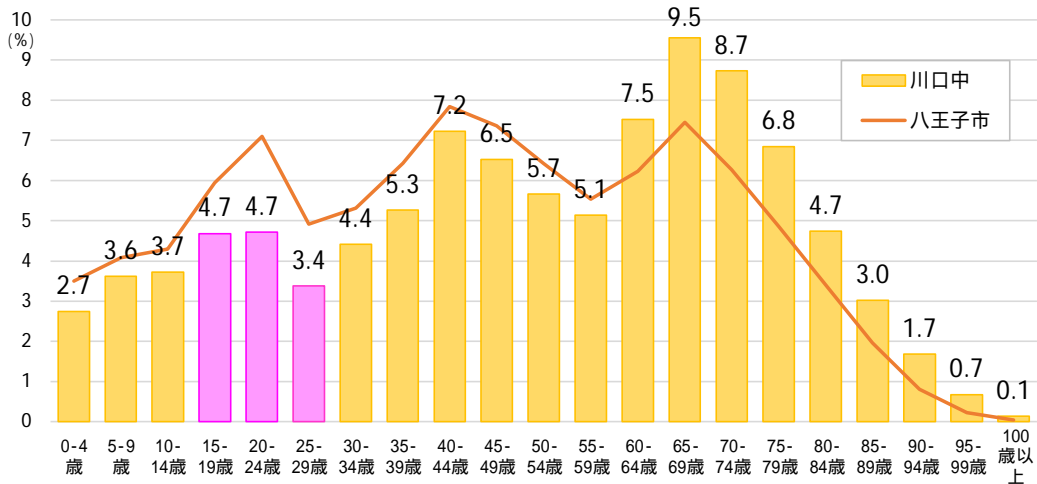


出典:「国勢調査(2000年、2005年、2010年、2015年)」総務省統計局(年齢不詳を案分)

(1)人口・世帯数(八王子市との比較)

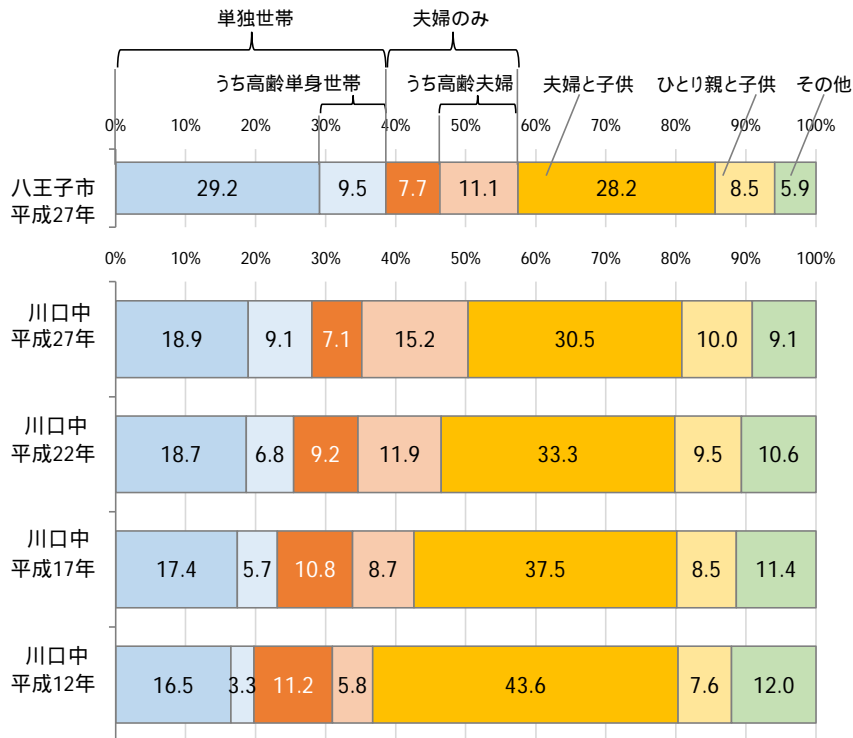
- 川口中学校区の人口構成は、八王子市全域と比べ、特に15～29歳までの中・高校生や大学生や若い働き手世代の割合が低くなっています。
- 川口中学校区の世帯類型の構成比は、「高齢夫婦世帯」や「高齢単身世帯」、「単独世帯」の割合が増加している一方、「夫婦と子供世帯」や高齢者以外の「夫婦のみ世帯」の割合は減少しています。平成27年には八王子市全域と比べ、高齢者以外の「単独世帯」の割合が特に低くなっています

人口構成(5歳階級別人口構成)



出典：「国勢調査(平成27年)」総務省統計局
 川口中学校区の通学区域に含まれる町丁目全域の数字を含めている
 (川口中学校区の通学区域：上川町全域、川口町全域、美山町全域、犬目町一部)
 年齢不詳を含まない構成割合

世帯類型(構成比)



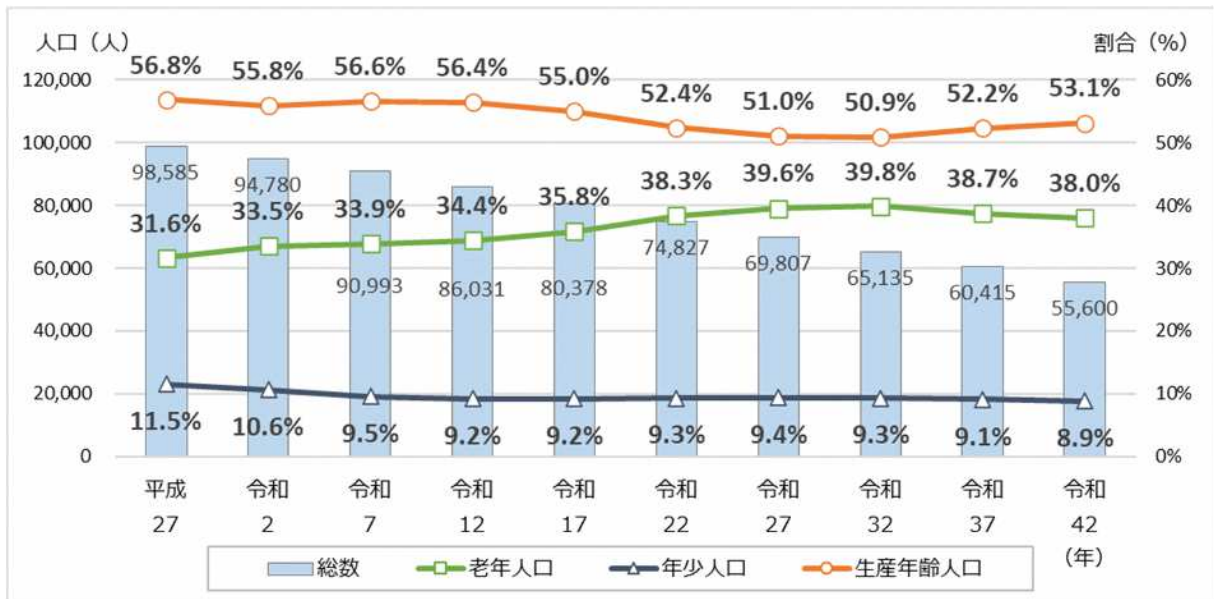
出典：「国勢調査(平成27年)」総務省統計局
 川口中学校区の通学区域に含まれる町丁目全域の数字を含めている
 (川口中学校区の通学区域：上川町全域、川口町全域、美山町全域、犬目町一部)
 不詳世帯をあん分補正している

(1)人口・世帯数(八王子市との比較)

- 西部地域の将来人口は、八王子市全域と同様に減少すると推計されています。
- 老年人口の割合は令和32年まで増加し、以降減少すると推計されています。一方、生産年齢人口の割合は令和32年まで減少し、以降増加すると推計されています。

将来人口推計、将来の人口構造

<西部地域(恩方+川口+元八王子)>



出典:「八王子市まち・ひと・しごと創生総合戦略(2020改定版)」

<八王子市>



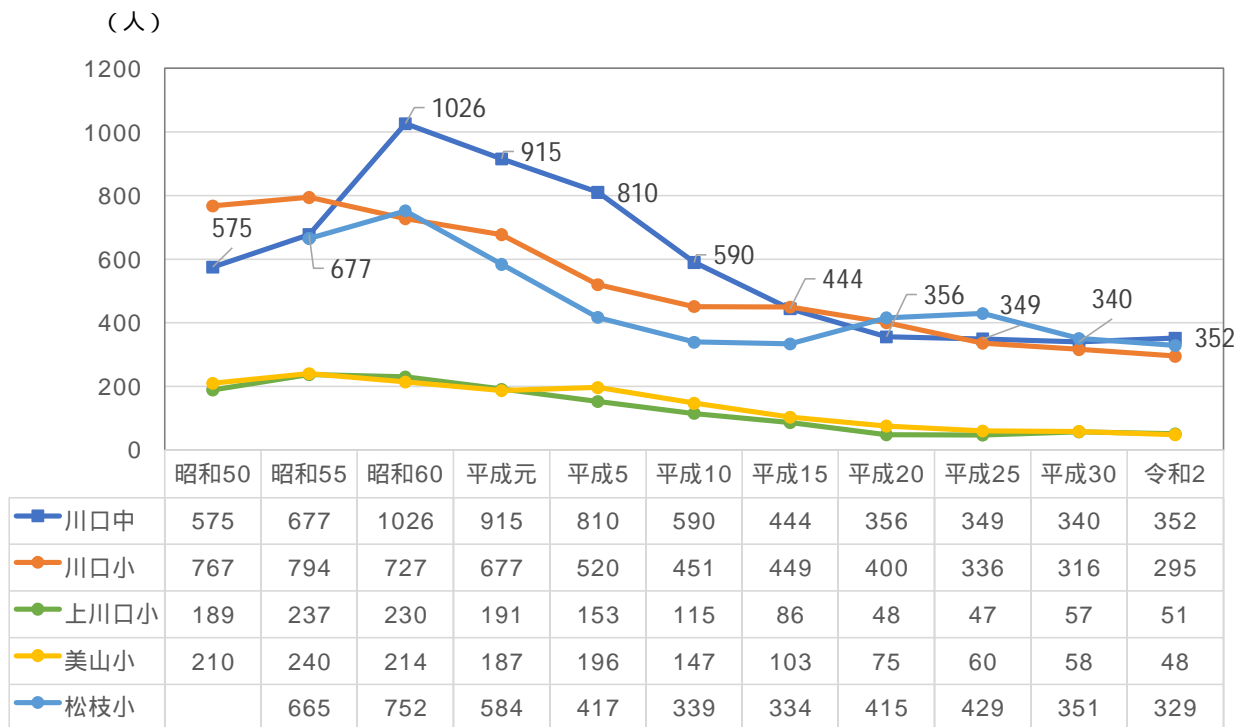
出典:「八王子市まち・ひと・しごと創生総合戦略(2020改定版)」

(2) 児童数・生徒数

- 川口中学校の生徒数は、昭和60年は1026人であったが、令和2年は352人に減少し、昭和60年に比べて34%に減少しています。
- 川口小学校の児童数は、昭和55年は794人であったが令和2年は295人と減少し、昭和55年に比べて37%に減少しています。
- 上川口小学校の児童数は、昭和55年は237人であったが令和2年は51人に減少し、昭和55年に比べて22%に減少しています。
- 美山小学校の児童数は、昭和55年は240人であったが令和2年は48人に減少し、昭和55年に比べて20%に減少しています。
- 松枝小学校の児童数は、昭和60年に752人であったが、令和2年は329人に減少し、昭和60年に比べて44%に減少しています。

児童数・生徒数の推移

< 川口中学校区 >

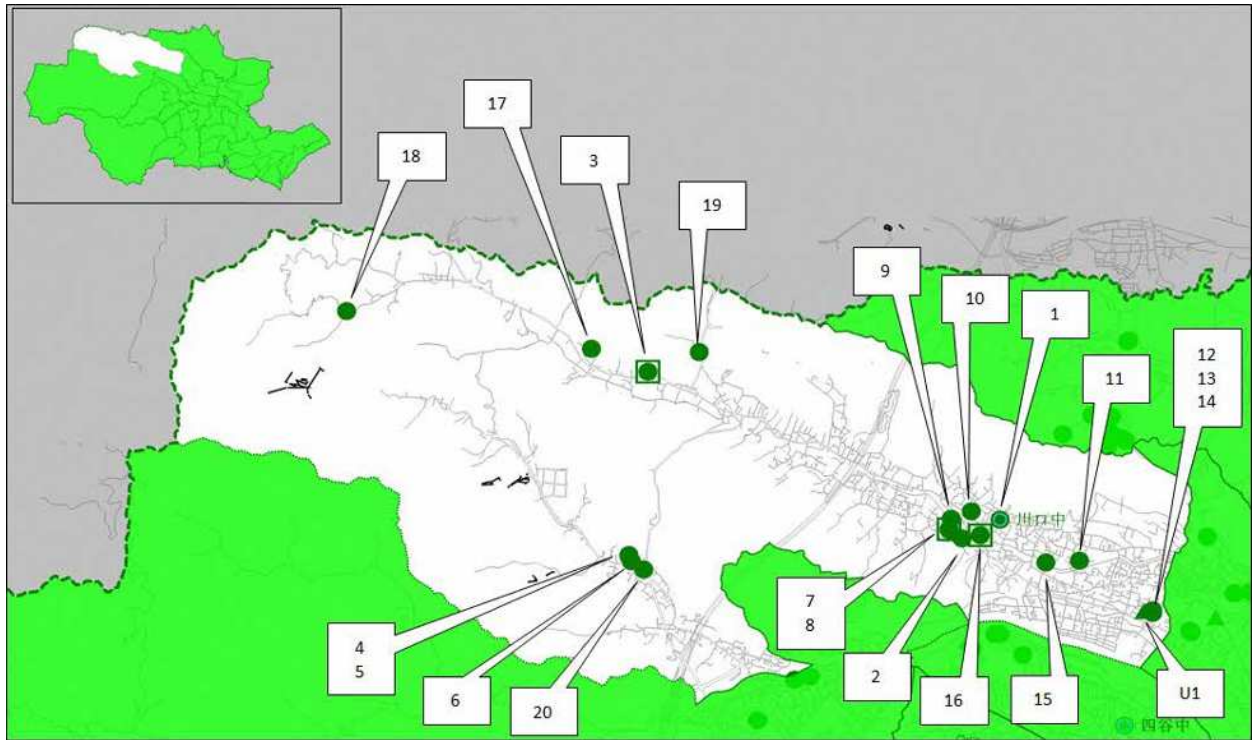


松枝小学校は、昭和55年4月開校

出典:「はちおうじの教育統計(平成22年度、令和2年度(2020年度)版)」

(3) 中学校区別の公共施設のデータ

川口中学校区公共施設マップ



(1) 市が所有している施設の状況一覧(平成30年度(2018年度)末時点)

No.	施設名称	延床面積 (㎡)	代表建物主体構造	建築年月	経過 年数	耐用 年数	残価率
1	川口中学校	7,354.15	鉄筋コンクリート造	昭和42年03月	52	47	43.70%
2	川口小学校	5,469.74	鉄筋コンクリート造	昭和46年03月	48	47	48.13%
3	上川口小学校 (上川口小学児童保育所)	3,828.20	鉄筋コンクリート造	昭和51年03月	43	47	22.15%
4	美山小学校	3,271.82	鉄筋コンクリート造	昭和46年03月	48	47	35.15%
5	美山小学校防災倉庫	18.60	軽量鉄骨造	平成19年03月	12	24	49.25%
6	美山小学児童保育所	87.77	軽量鉄骨造	平成14年03月	17	27	43.00%
7	川口事務所 (川口市民集会所) (地域福祉推進拠点・川口)	1,057.29	鉄筋コンクリート造	昭和57年01月	37	50	33.94%
8	地域包括支援センター川口	117.02					33.58%
9	川口町防災倉庫	64.00	鉄筋コンクリート造	昭和58年03月	36	38	2.58%
10	川口町測定室	1.98	軽量鉄骨造	平成16年03月	15	24	37.00%
11	川口団地	592.00	補強コンクリートブロック造	昭和40年04月	53	38	0.00%
12	川口図書館	1,048.77					56.12%
13	生涯学習センター川口分館	1,109.70	鉄筋コンクリート造	平成08年07月	22	50	56.00%
14	川口市民センター	1,793.74					55.48%
15	川口東部会館	349.99	鉄筋コンクリート造	昭和62年02月	32	47	29.23%
16	川口児童館 (川口学童保育所第一・第二クラブ)	437.74	鉄筋コンクリート造	昭和50年03月	44	47	3.00%
17	上川農村環境改善センター	608.00	鉄筋コンクリート造	昭和58年12月	35	50	43.31%
18	無料休憩所今熊山荘	72.49	木造	昭和37年12月	56	17	0.00%
19	上川の里特別緑地保全地区	9.31	木造	平成28年03月	3	15	79.34%
20	旧消防団第六分団第六部器具置場	33.05	木造	昭和54年03月	40	15	0.00%

(2) 市が非所有の施設の状況一覧(平成30年度(2018年度)末時点)

No.	施設名称	施設所在
U1	からまつ学童保育所	川口町1557-2

出典:「八王子市地域づくり推進基本方針」

(4) 地域ヒアリングの結果

地域づくり推進会議を開催するにあたり、地域の相談機関などにヒアリングを実施しました。その結果を取りまとめ、主な課題や現状を示した結果を紹介します。

川口中学校区の特徴

- ・川口町、美山町は住民活動が盛んである。
- ・上川町と川口町、犬目町、檜原町は地域の環境が違う。
- ・犬目町、檜原町は建売住宅が増え、新住民が増加している。
- ・上川町は地域内での結束力が強い印象がある。
- ・川口中学校区にはNPO法人の活動が多い。



川口中学校区の課題

公共交通手段の不足

- ・川口中学校区はバスが30分に1本しかなく、車などの移動手段がないと買い物や大きな病院へ行きにくい。

交流機会・居場所が少ない

- ・古くからの住民と新住民がつながる機会が少ない。
- ・町会加入率が低下している(川口町会の加入率は50%程度)。移入者は加入しないことが多い。
- ・日常生活の中で様々な世代の住民が気軽に集まれ、地域と子育て世代・新住民との接点づくりが必要である。
- ・親が安心できる子どもの居場所が不足している(小学校70学校に対し児童館は10施設と少ない)。

マンパワーや活動の担い手の不足

- ・60~70代が地域活動の中心であり、地域活動の担い手が不足している。
- ・仕事がある若い世代の地域づくりへの参加が少ない。
- ・民生委員の活動は高齢者対応がメインとなっており、潜在的な子どもの支援対象者に対応できていない。

施設間の連携の促進

- ・保健福祉センター(市内に3カ所)と子ども家庭支援センターなど、活動が近い施設の連携強化(施設の併設を含め)が必要である。
- ・児童館活動において、学校の空き教室や市施設の利用ができると良い。
- ・個人情報観点から、共有できない情報が多い。

情報発信・共有の不足

- ・情報発信力が弱い。地域の(福祉関係の)情報が一括で手に入るようなポータル機能がない。
- ・「あなたの町のあんしんマップ」や「地域資源一覧」の情報が更新されていない(平成18年度が最新)。
- ・地域の活動団体が情報発信できるシステム(WEBサイト)があると良い。

防災・安全

- ・川口町は空き家が多いが、空き巣や車上荒らし、不法侵入、子どもに関する事件などは特に起きていない。
- ・避難所や休憩用のベンチの増設の要望がある。
- ・川口中学校区には小児科がないため、大きい病院へ行く必要がある。

地域課題に対する取組状況

- ・生活支援サービス団体による**場づくり**、**サロン**がある。
- ・子どもや高齢者の居場所づくり等の**地域課題**に取り組む**NPO法人**や**地域活動**が複数ある。上川町は緑地管理を目的としたNPO法人の活動がある。
- ・保育園での親のつながりなど**テーマ型コミュニティ**がある。
- ・高齢者あんしん相談センターが地域のサロンやサークルを巡回して**地域の高齢者の様子を確認**している(一人暮らし世帯は民生委員が把握)。
- ・**児童館**が**不登校の子どもの居場所**になっている。不登校家庭向けの通信を発行している保護者もいる。
- ・スーパーやコンビニ、個人商店により**移動販売**が行われている。



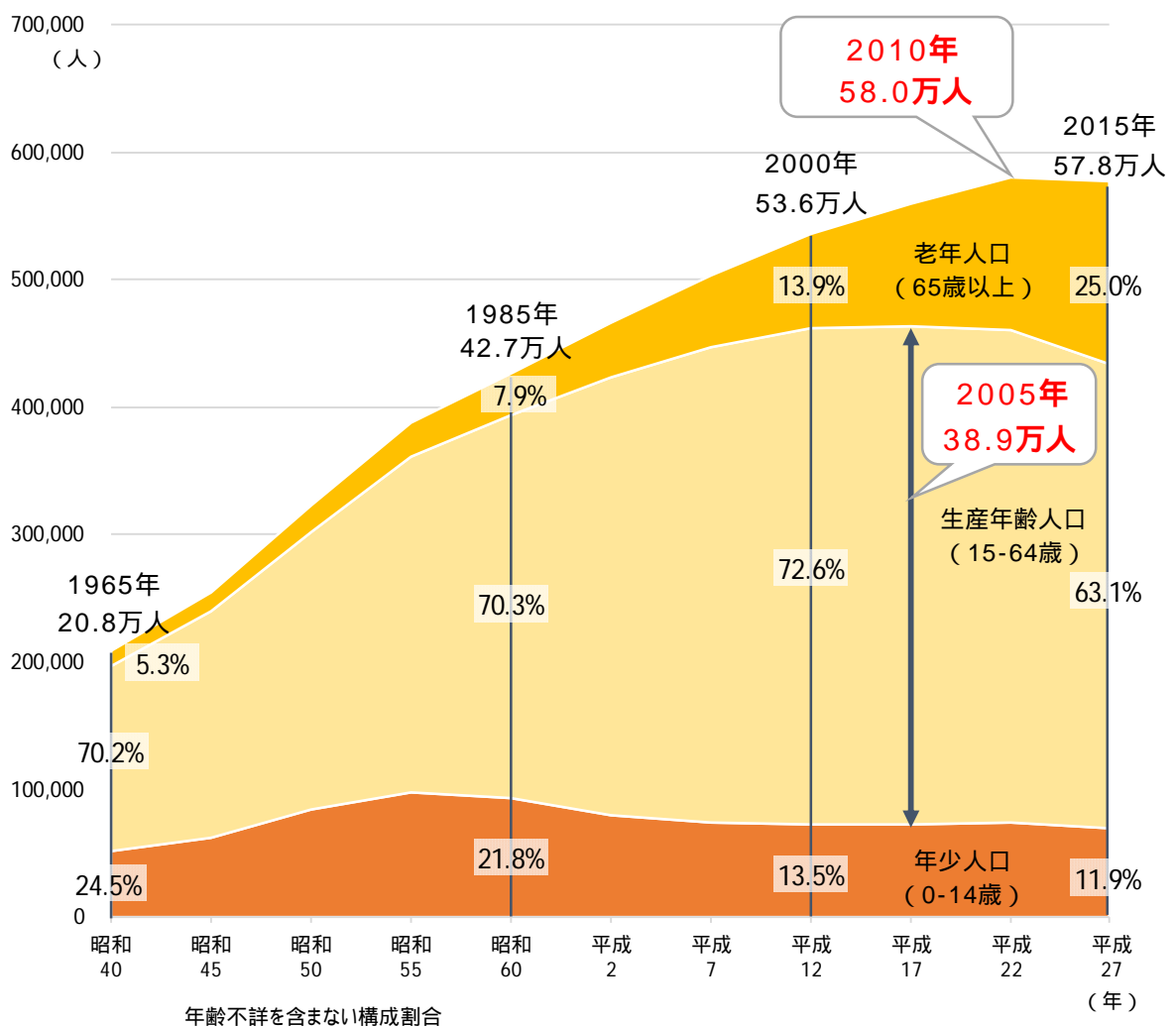
八王子市の現状

本章では、八王子市の現状に関するデータを紹介します。
特に、地域連携や市民協働を考えるきっかけとなるデータを取り上げています。

(1) 人口

- 総人口は、昭和40年(1965年)に20.8万人でしたが、市郊外の宅地開発に加え、昭和50年(1975年)以降、多摩ニュータウンの入居が始まったことなどから急増し、平成22年(2010年)に58万人となりました。
- 生産年齢人口(15～64歳)は、平成17年(2005年)をピークに減少しています。
- 老年人口(65歳以上)は、人口及び割合がともに年々増加しており、平成27年(2015年)には割合が25%まで上昇しています(4人に1人が高齢者)。

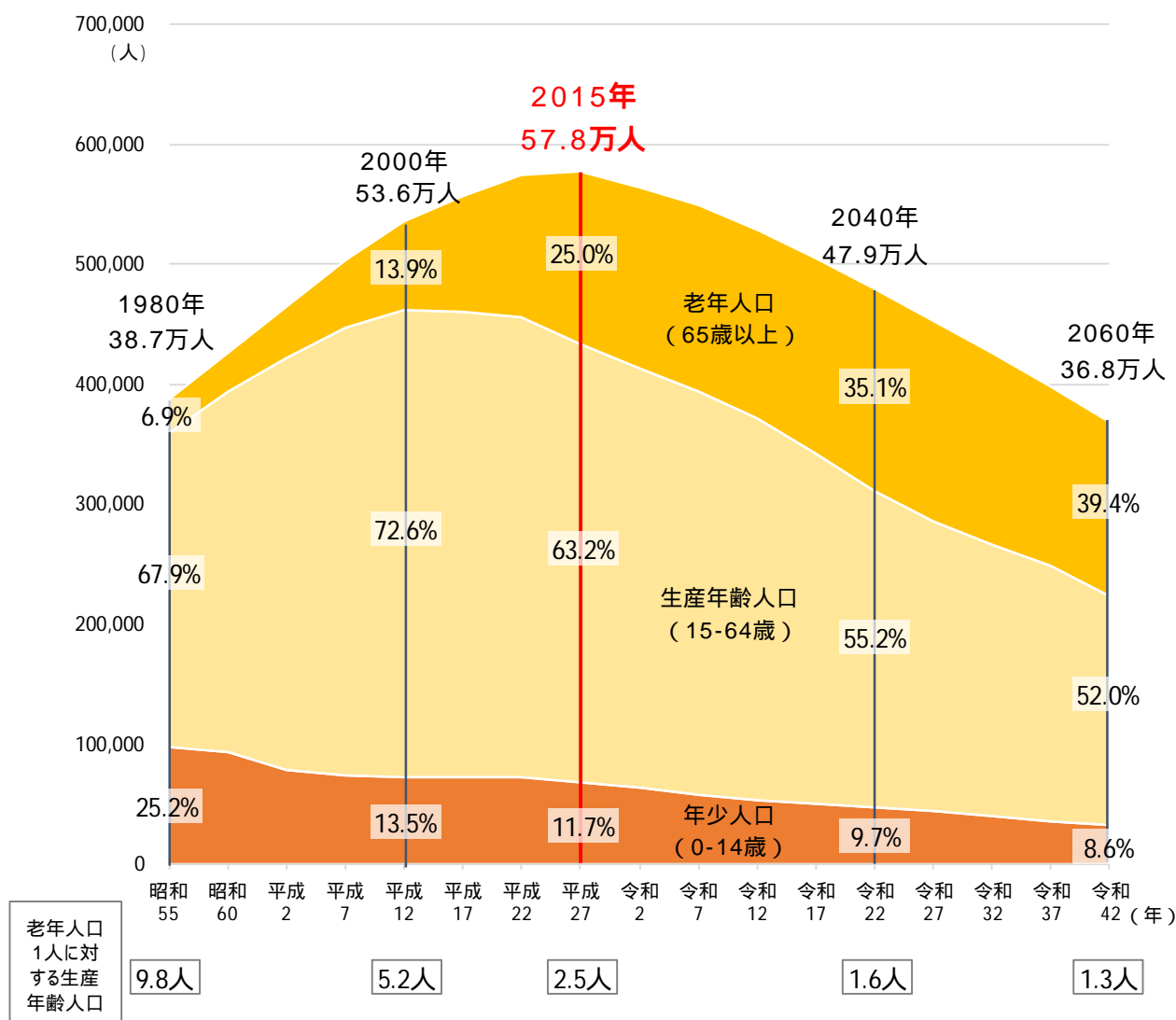
人口の推移



出典:「八王子基礎データ集」

- 現在の状況が続くと、将来人口は、20年後の令和22年(2040年)に47.9万人、40年後の令和42年(2060年)に36.8万人になると推計しています。
- 生産年齢人口(15～64歳)の構成比は、平成27年(2015年)に63.2%でしたが、推計では令和42年(2060年)には52.0%となり、1人の老年人口(65歳以上)を1.3人の生産年齢人口(15～64歳)で支えることとなります。

将来人口推計 合計特殊出生率(以下「出生率」という。)が1.26(平成27年)で、平成24年1月～平成29年1月の住民基本台帳人口の動向が継続した場合「八王子市まち・ひと・しごと創生総合戦略(2020改定版)」シミュレーション1



合計特殊出生率とは、「15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性が一生の間に生む子どもの数の推計値

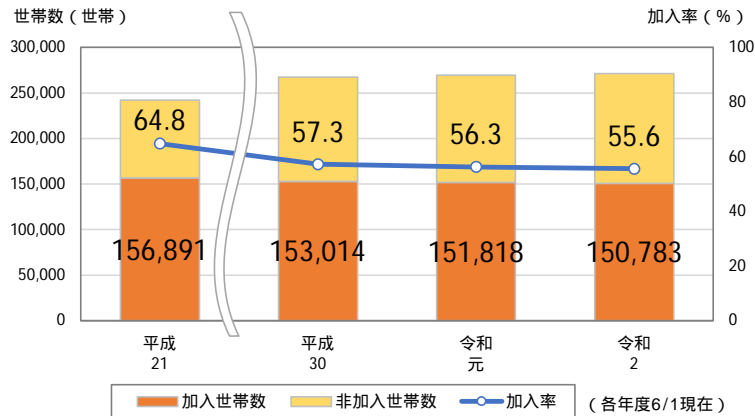
平成22年以前は、年齢不詳を含まない構成割合。平成27年以降は、年齢不詳をあん分して含めた構成割合

出典:「八王子基礎データ集」

(2) 暮らし・福祉

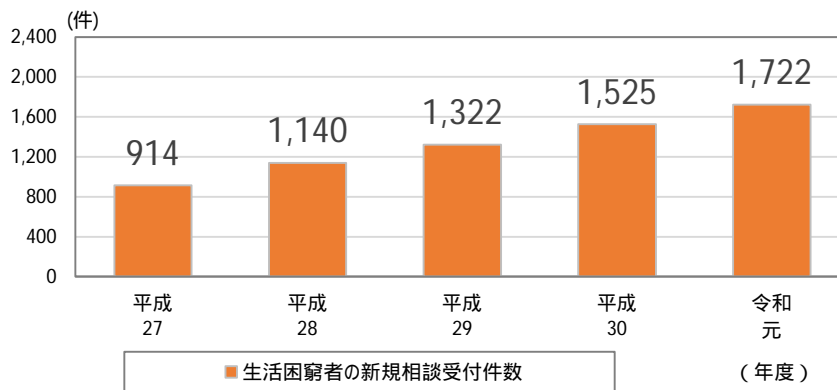
- 「町会・自治会の加入率」は減少傾向にあり、令和2年度には55.6%になっています。
- 「生活困窮者の新規相談受付件数」は年々約200件ずつ増加しています。
- 「生活保護」を受けている人員・世帯ともに減少傾向にありましたが、令和2年には、微増しています。

町会・自治会加入世帯数及び加入率の推移



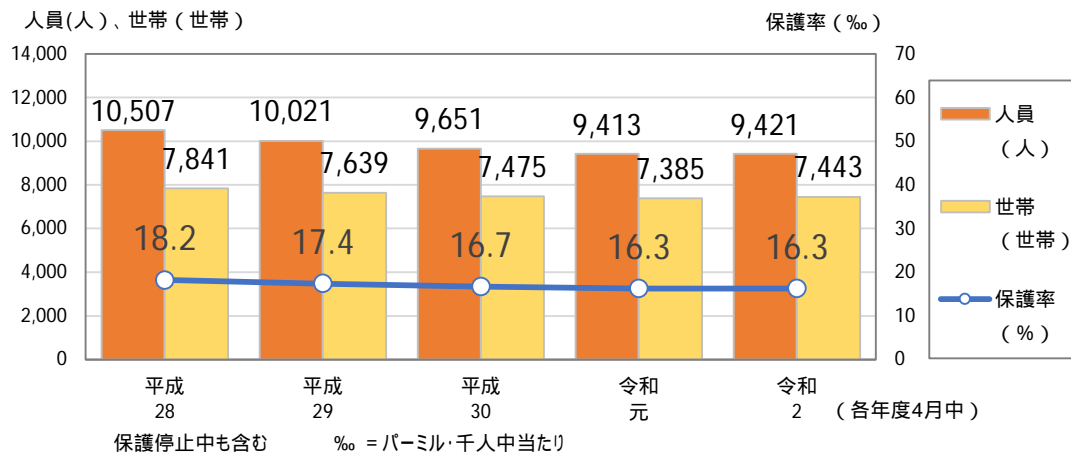
出典:「八王子基礎データ集」

生活困窮者の新規相談受付件数の推移



出典:「八王子基礎データ集」

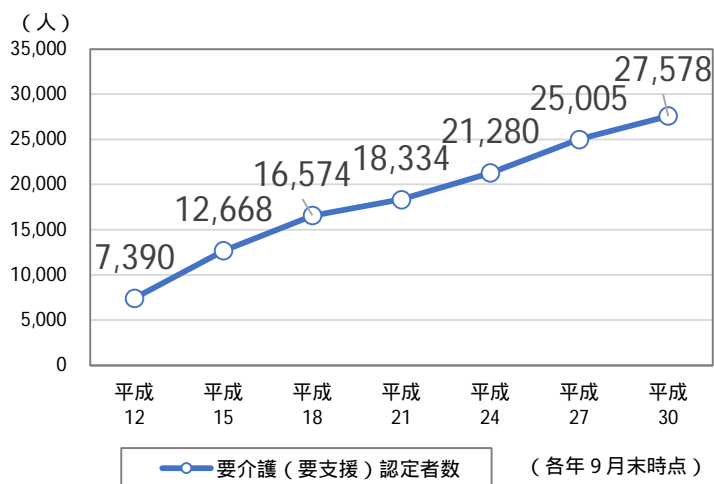
生活保護の状況(人員、世帯、保護率)



出典:「八王子基礎データ集」

- 「要介護(要支援)」が必要な人は、介護保険制度が導入された平成12年から約2万人増えています。
- 本市の地域活動を支える人材や団体の状況は下表のとおりで、多くの項目において増加しています。ボランティアセンターへの登録については、平成11年に比べ個人は半減しているものの、団体は2.5倍に増加しています。

要介護(要支援)認定者数の推移



出典:「八王子基礎データ集」

地域資源の状況

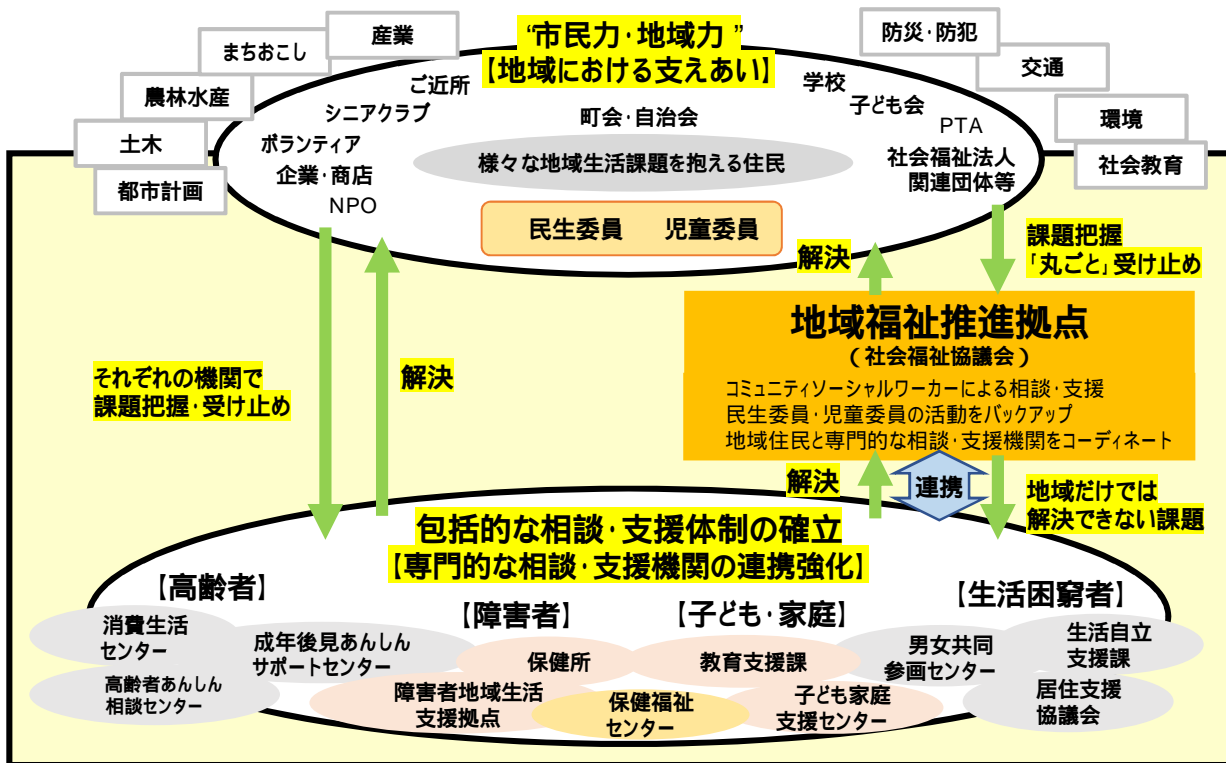
地域資源の状況			
民生委員・児童委員		336 人 (平成11年4月1日現在)	448 人 (平成31年4月1日現在)
町会・自治会	団体	507 団体 (平成11年7月1日現在)	576 団体 (令和元年6月1日現在)
	加入世帯	142,784 世帯 (平成11年7月1日現在)	151,818 世帯 (令和元年6月1日現在)
NPO法人		15 団体 (平成12年3月31日現在)	276 団体 (令和2年3月6日現在)
高齢者ボランティア・ポイント制度登録者		494 人 (平成21年3月31日現在)	2,842 人 (令和2年3月31日現在)
高齢者サロン		52 か所 (平成21年3月31日現在)	185 か所 (令和2年3月31日現在)
シニアクラブ会員		21,021 人 (平成12年3月31日現在)	13,561 人 (令和2年3月31日現在)
ボランティアセンターへのボランティア登録	団体	124 団体 (平成11年4月1日現在)	307 団体 (令和2年3月31日現在)
	個人	920 人 (平成11年4月1日現在)	437 人 (令和2年3月31日現在)

出典:「八王子基礎データ集」

(2) 暮らし・福祉

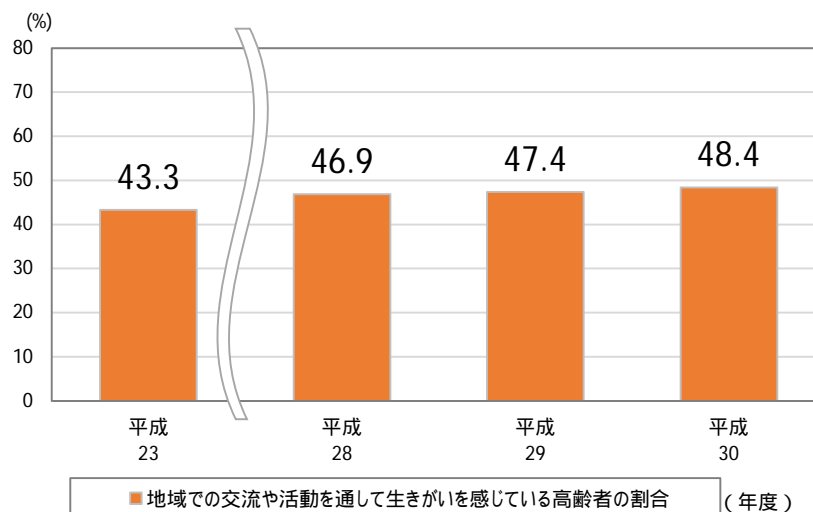
- 本市では、多様化する福祉課題に対して「包括的な相談・支援体制」を推進しています。
- 「地域での交流や活動を通して生きがいを感じている高齢者の割合」は、増加傾向にあります。

本市における「包括的な相談・支援体制」のイメージ(地域福祉計画)



出典：「八王子基礎データ集2020」

地域での交流や活動を通して生きがいを感じている高齢者の割合(推移)

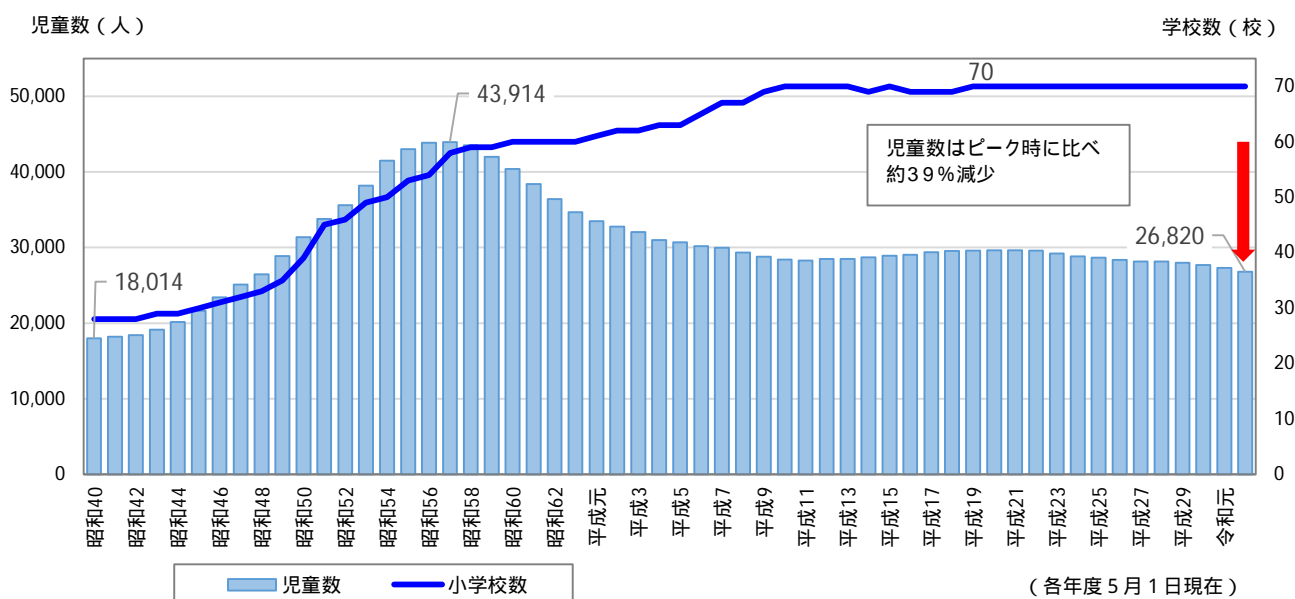


出典：「八王子基礎データ集2020」

(3) 教育・子ども

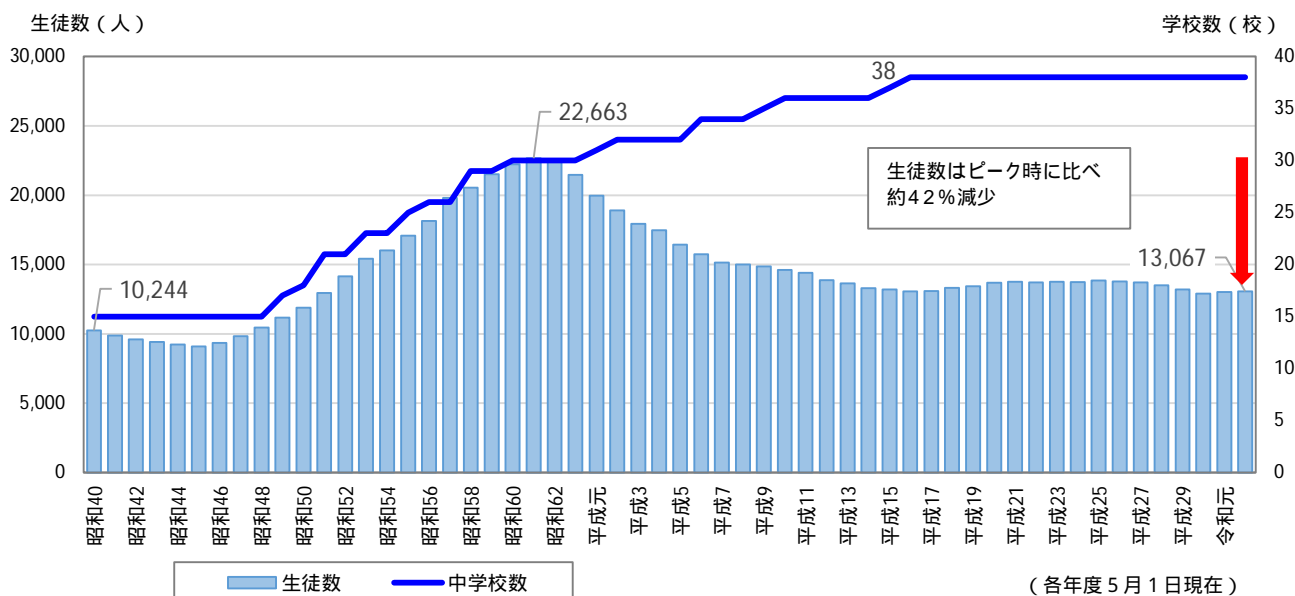
- 小学校の児童数は、令和元年度(2019年度)には26,820人と、昭和57年度(1982年度)のピーク時(43,914人)に比べて約39%減少しています。一方で、学校数は昭和57年度(58校)より12校増加し、70校となっています。
- 中学校の生徒数は、令和元年度(2019年度)には13,067人と、昭和61年度(1986年度)のピーク時(22,663人)に比べて約42%減少しています。一方で、学校数は昭和61年度(30校)より8校増加し、38校となっています。

小学校の児童数と小学校数の推移



出典:「学校教育政策課資料」

中学校の生徒数と中学校数の推移

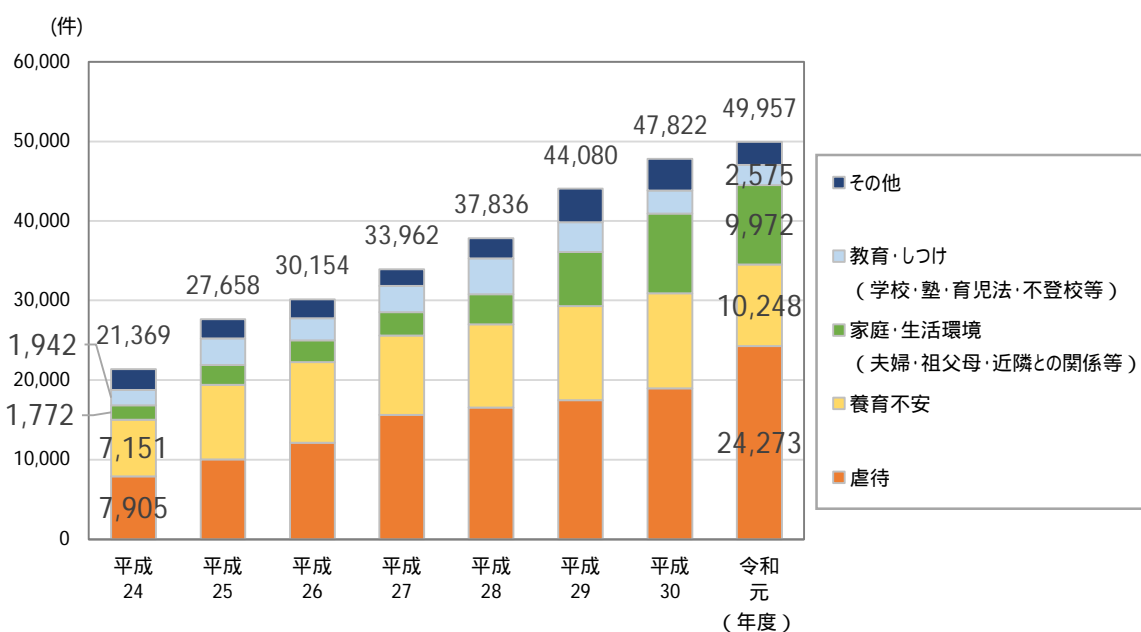


出典:「学校教育政策課資料」

(3) 教育・子ども

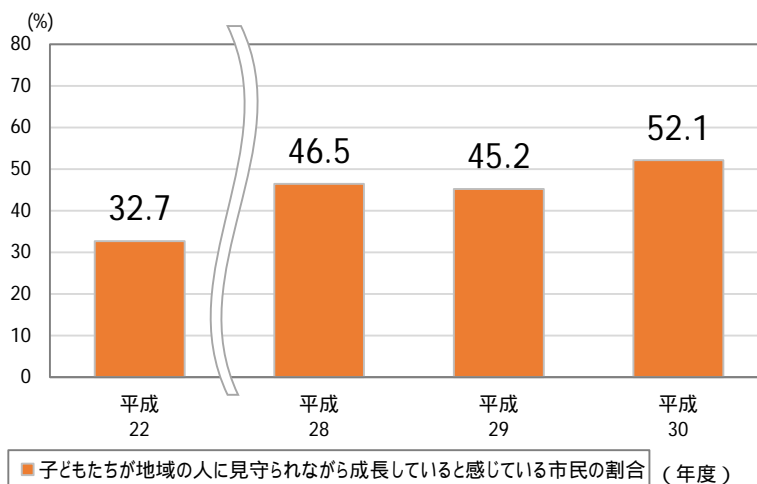
- 「子どもと家庭に関する総合相談件数」は、年々増加しています。
- 令和元年度の「相談内容」では、「虐待」の相談が最も多くなっています。続いて、「養育不安」、「家庭・生活環境」の相談が多く、この3項目で全相談の90%近くに達します。平成24年度比では「家庭・生活環境」の相談が5.6倍、「虐待」の相談が3.1倍になっています。
- 平成30年度の「子どもたちが地域の人に見守られながら成長していると感じている市民の割合」は、平成22年度に比べ19.4ポイント上昇しており、50%を超えました。

子ども家庭支援センターにおける子どもと家庭に関する総合相談件数の推移



出典：「八王子基礎データ集2020」

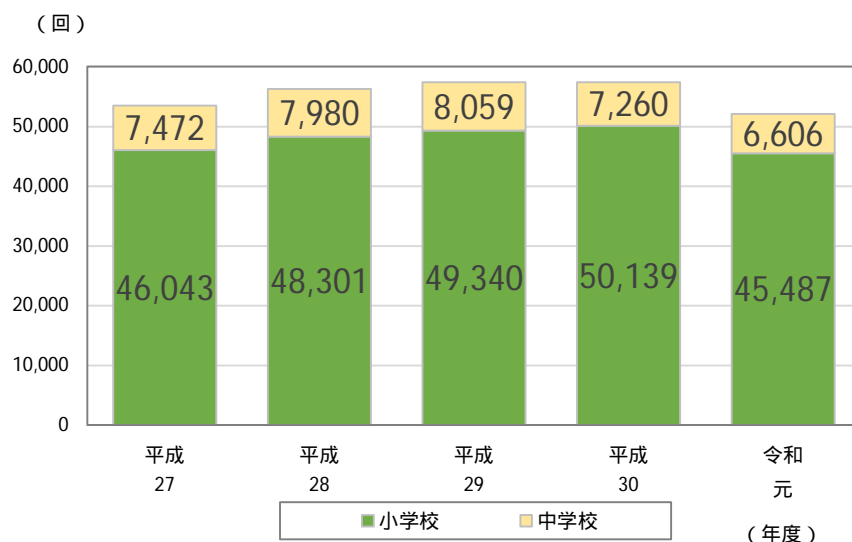
子どもたちが地域の人に見守られながら成長していると感じている市民の割合(推移)



出典：「八王子基礎データ集2020」

- 「学校と地域が連携して行う取組数」は近年増加傾向にありましたが、令和元年度に減少しました。
- 「学校と地域が協力して子どもを育てていると感じている市民の割合」は増加傾向にあります。

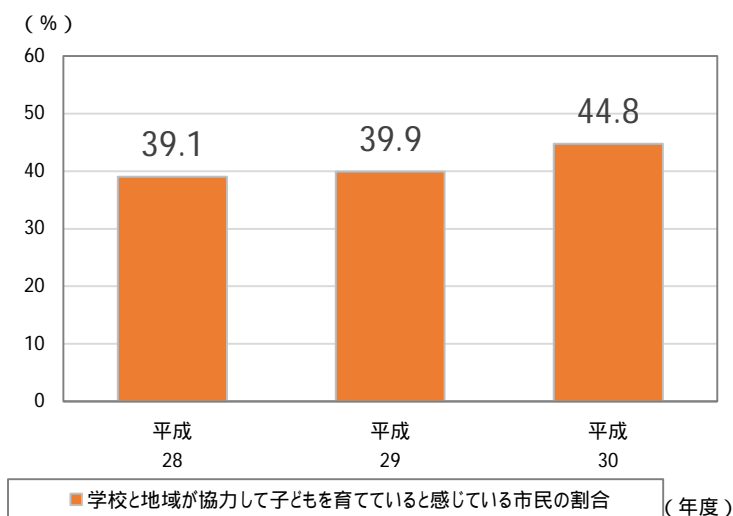
学校と地域が連携して行う取組数の推移



取組とは、学校行事、地域まつりなどのイベント、美化活動、地域パトロールなど
令和元年度は、3月2日より市立小・中学校は臨時休業

出典：「八王子基礎データ集2020」

学校と地域が協力して子どもを育てていると感じている市民の割合(推移)

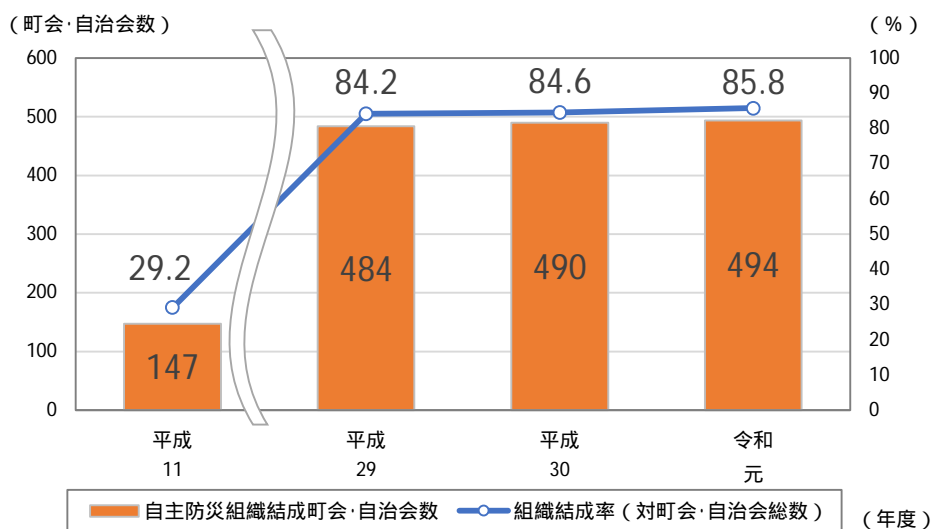


出典：「八王子基礎データ集2020」

(4) 防災

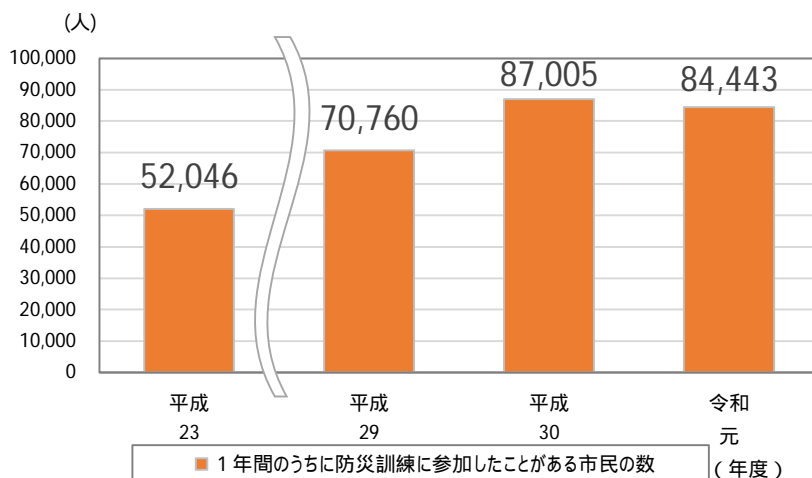
- 令和元年度の「自主防災組織を結成している町会・自治会数」は、平成11年度に比べ3.4倍になっており、85.8%の結成率となっています。
- 令和元年度の「1年間のうちに防災訓練に参加したことがある市民の数」は、平成30年度に比べ微減していますが、平成23年度と比べると1.6倍になっています。

自主防災組織結成町会・自治会数及び結成率の推移



出典：「八王子基礎データ集2020」

1年間のうちに防災訓練に参加したことがある市民の数(推移)



出典：「八王子基礎データ集2020」